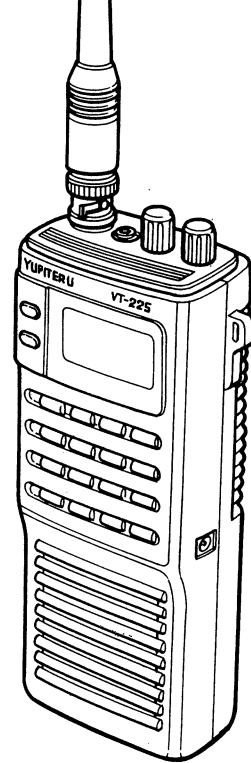


YUPITERU



エアーバンドレシーバー
VT-225

取扱説明書

はじめに

このたびはユビテルエアーバンドレシーバー VT-225
をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
させていただきます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しく
お使いください。なお、お読みになられたあとも、
保証書、お客様ご相談窓口一覧と一緒に大切に保管し
てください。

万一ご使用中、わからないことや具合の悪いことが
生じたときにお役に立ちます。

目次

第1章	使用前の確認・準備	3
	主な特長	4
	付属品	5
	使用上のご注意	6
	各部の名称とはたらき	8
	電源について	15
第2章	基本的な操作	17
	キー操作を始める前に	18
	数値キーによる選局	20
	モニター機能	26
	キーロック機能	26
第3章	サーチについて	27
	サーチ機能について	28
	サーチバスメモリーについて	32
第4章	メモリーとスキャンについて	37
	チャンネルメモリーのしかた	38
	メモリーチャンネルの呼び出し	42
	チャンネルメモリースキャンについて	48
	バンクスキャンについて	50
	プライオリティ機能について	52
第5章	便利な機能	55
	サーチバンドの内容書き替え	56
	ディレイ機能	58
	ビープ音の消去	58
	ランプ機能	59
第6章	知っておきたいこと	61
	故障かな？と思ったら	62
	アフターサービスについて	64
	一般仕様	64

第1章

使用前の確認・準備

主な特長	4
付属品	5
使用上のご注意	6
各部の名称とはたらき	8
・ 本体	8
・ ディスプレイ	10
・ キーボード	12
電源について	15
・ 充電のしかた	15
・ 電池について	16

■マイクロコンピュータによる豊富な操作機能

本機はマイクロコンピュータ技術を駆使し、マニアの要望に応える多彩な機能と、ビギナーのための簡単操作を実現した高性能受信機です。

■VHF/UHF帯航空無線をAM/FMモードでカバー

航空管制に使用されるAMモードの周波数に加え、空港内の業務連絡に使用されるFMモードの周波数も受信できます。

■豊富な周波数ステップ

周波数ステップは、それぞれの通信システムに対応できるように、10/12.5/25/50/100kHzの中から任意に選択できます。

■10バンド指定サーチ機能

本機の受信周波数範囲を10バンドに任意に登録でき、そのバンド内を簡単に受信できるサーチ機能を装備しています。

■サーチバスメモリー機能

サーチ中の不要な周波数をバス登録することで、効率的なサーチが可能です。

■100チャンネルメモリー機能

聴きたい局を最大100チャンネルまで登録できる、大容量の100チャンネルメモリー機能。さらに、そのメモリーチャンネルを効率よく受信できるメモリースキャンやバンクスキャン、プライオリティ機能など、多彩な機能を備えています。

■高速スキャン/サーチ機能

本機のスキャン/サーチスピードは、1秒間に約30チャンネル/40ステップと高速です。

■3電源方式

豊富な付属品により、ニッケルカドミウム電池での携帯使用から、ACアダプターによる家庭電源使用、カーコネクターによる車載（12Vシガーライターソケット専用）使用までフル対応しています。

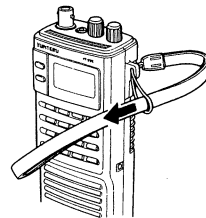
■豊富な受信機能/操作機能

- バスメモリー機能
- シグナルメーター
- ピープ音ON/OFF機能
- モニタースイッチ
- キーロックスイッチ

フレキシブルアンテナ	(1)
ACアダプター	(1)
カーコネクター	(1)
ニッケルカドミウム電池	(4)
ハンドストラップ	(1)
ベルトクリップ	(1)

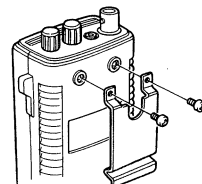
ベルトクリップ取付用ネジ	(2)
イヤホン	(1)
取扱説明書	(1)
保証書	(1)
お客様ご相談窓口一覧	(1)

ハンドストラップ



本体側面に図のように取り付けます。

ベルトクリップ



本体背面に図のように取り付けます。

置き場所について

次のような場所での使用や放置はしないでください。

- 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く、あるいは炎天下の自動車内など温度の高くなる場所
- 湿度の高い場所や風通しの悪い場所
- ホコリや油煙の多い場所
- 非常に温度が低い場所
- 無線機やテレビ、ラジオ、パソコン等のデジタル機器の近く、車内使用では雑音が入る場合があります。

安全のために

- ぬれた手で、電源プラグなどの抜き差しはしないでください。
- コード類を無理に曲げたり、重い物をのせたりしないでください。
- 本機は精密機器ですので、中をあけ内部に触れたり、金属や異物を入れないでください。
- 付属品以外のACアダプターやカーコネクタは絶対に使用しないでください。

取り扱いについて

- 持ち歩くときは、落下などの衝撃を与えないでください。
- 本機が汚れたときは、柔らかい布などでふいてください。ポリエステルなどの静電気の起きやすいもの、ベンジンやシンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。
- 本機は広帯域受信機ですので、受信機内部の発振（スプリアス）により受信できなかつたり、雑音が発生する周波数があります。

アンテナについて

- 付属のフレキシブルアンテナ以外に、市販のアンテナも使用できますが、その際は、受信周波数に合ったアンテナを使用してください。
- 近くに放送局など強い電波があるときは、良行な受信ができないことがあります。また、増幅回路付きの外部アンテナなどは使用しないでください。

リセットスイッチについて

次のようなときは、リセットスイッチをボールペンの先などで押して、初期状態にしてください。

- 購入後、初めて使用するとき
- 登録した内容をすべて消去するとき
- ディスプレイの表示が異常なとき

無線局について

- 一部の機密を要する無線局は、市販の受信機では受信できない通信方式（デジタル通信など）が採用されています。

お客様が受信した内容は、電波法上、第三者に漏らしたり、行動に移したりすることが禁止されています。

万一、異常や不具合が起きたときは、お問い合わせの販売店、または最寄りの弊社営業所にご相談ください。

本 体

①電源/音量調節つまみ(POW/VOL)

②スケルチ調整つまみ(SQUELCH)

③アンテナ接続端子(ANT.)

④ランプスイッチ(LAMP)

⑤モニタースイッチ(MONI)

⑥キーロックスイッチ(KEY LOCK)

⑦リセットスイッチ(RESET)

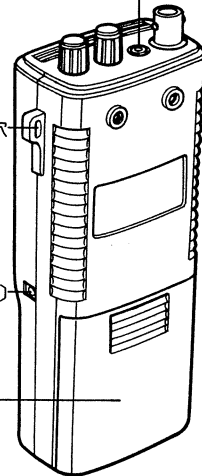
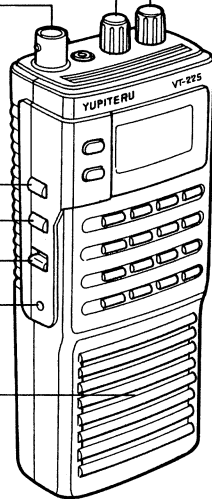
⑧スピーカー

⑨外部スピーカー端子(EXT.SP)

⑩ハンドストラップ取付穴

⑪外部電源端子(DC 12V)

⑫電池カバー



①電源/音量調節つまみ(POW/VOL)

右に回すと電源が入り、さらに回すと音量が大きくなります。

②スケルチ調整つまみ(SQUELCH)

無信号時の「ザー」という雑音を消し、受信信号を最良の状態を受信するために使います。

③アンテナ接続端子(ANT.)

付属のアンテナを接続する端子です。

④ランプスイッチ(LAMP)

ディスプレイの夜間照明用ランプのスイッチです。

⑤モニタースイッチ(MONI)

交信局の受信信号が弱く途切れるときに押します。

⑥キーロックスイッチ(KEY LOCK)

ONにすると前面の各キーの動作を無効とします。持ち運ぶときなどに使用します。

⑦リセットスイッチ(RESET)

マイコンを初期状態にするスイッチです。

⑧スピーカー

⑨外部スピーカー端子(EXT.SP)

外部スピーカーやイヤホン用の端子です。この端子に接続されているときは、内蔵スピーカーから音は出ません。

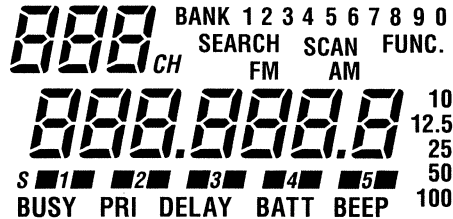
⑩ハンドストラップ取付穴

⑪外部電源端子

付属のACアダプターやカーコネクタを接続することで、電源を供給したり付属のニッケルカドミウム電池への充電ができます。

⑫電池カバー

ディスプレイ



SEARCH

サーチモードのとき点灯します。

SCAN

スキャンモードのとき点灯します。

FUNC.

ファンクションキーを押すと点灯します。

BANK

メモリスキャンモードのときに、SCANや登録されているチャンネルのバンクナンバーとともに点灯します。

1 ~9,0

スキャンモードのバンクナンバー、サーチモードのサーチバンドナンバーとして表示され、スキャンモードで受信中は対応するナンバーが点滅します。また、サーチバンドの内容書き替え中は点滅しています。

FM AM

選択した受信モードが点灯します。

10 12.5 25 50 100

選択している周波数ステップが点灯し、周波数ステップを変更した直後は点滅します。

88.8

メモリーチャンネルを表示し、メモリーチャンネルを呼び出したときに点灯します。また、バスメモリーしているチャンネルを呼び出したときは、CH 表示が点滅となります。

P_o

プライオリティチャンネルを受信しているときや、呼び出したとき、登録したときにCH表示とともに点灯します。

P

サーチバス登録したときに点灯します。また、サーチバスしている周波数を呼び出したときは、P 表示の点滅となります。

88.8.88.8

各モードでの周波数や入力中の数字を表示し、入力途中では点滅し、入力後は点灯します。また、Error、ALL PASS、FULLなど機器の状態を表示します。

S ■1■

シグナルメーター。受信信号強度に応じて点灯します。

BUSY

スケルチが開いているときやモニタースイッチを押しているときに点灯します。

PRI

プライオリティ機能が設定されているときに点灯します。

DELAY

ディレイ機能が設定されているときに点灯します。

BATT

電池が消耗し、充電や電池の交換が必要なときに点灯します。

BEEP

ピープ音が出るように設定されているときに点灯します。

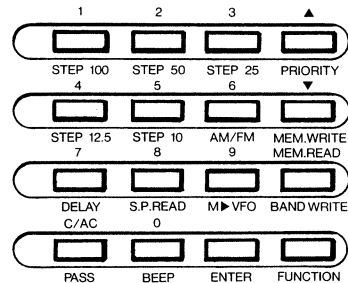
キーボード

◀ダイレクト入力キー▶

SCAN



SEARCH



スキャンキー(SCAN)

あらかじめ登録したチャンネルを順次自動選局するときに使用します。

1度押してスキャンを始め、もう1度押すと解除します。

サーチキー(SEARCH)

あらかじめ設定した1~9,0に該当するサーチバンドのサーチを始めるときや、目的の周波数がわからないときなど、自動的に交信局を探すときに使用します。1度押してサーチを始め、もう1度押すと解除します。

数値キー(1~9,0)

周波数の入力やメモリーチャンネルの指定のときなどに使います。また、サーチキーの前に押すと指定したバンドのサーチができ、スキャンキーの前に押すとバンクを指定することができます。

クリア/オールクリアキー(C/AC)

周波数やメモリーチャンネルの設定途中で、入力した数値を訂正するときに押します。

1度押して訂正を受け付ける状態となり、数値キーで訂正できます。

2度押してオールクリアとなり、入力内容を取り消せます。

アップキー(▲)

・マニュアルモードのときに1度押すと、周波数がディスプレイ表示のステップで、1ステップ移動します。また1秒以上押し続けると、その間周波数を早送りします。

・メモリー呼び出しやサーチパス周波数を呼び出したときに1度押すと、次のメモリーチャンネルやサーチパス周波数が表示されます。また、メモリー呼び出しのときに1秒以上押し続けると、その間チャンネルを早送りします。

・メモリスキャンのときは、1チャンネル強制移動キーとしてはたらき、スキャンの方向指定キーにもなります。

・サーチのときは、周波数の強制移動キーとしてはたらき、サーチの方向指定キーにもなります。

・周波数、メモリーチャンネルの設定途中で、クリア/オールクリアキーを1度押したあとに押すと、訂正する桁を移動することができます。

ダウンキー(▼)

アップキーと逆方向のはたらきをします。

メモリーリードキー(MEM. READ)

メモリーチャンネルを呼び出すときや、呼び出し前の周波数に戻すときに使用します。

エンターキー(ENTER)

周波数の設定のときに使用し、このキーを押すことで設定が完了します。

ファンクションキー(FUNCTION)

1つのキーの動作を同色の機能に切り替えるときに使用します。

各部の名称とはたらき

電源について

◀ファンクションキーのあとに押すことで動作するキー▶

ステップ選択キー(STEP 100, 50, 25, 12.5, 10)

周波数ステップを変更するときに使用します。

(数値キーの1~5と兼用です。)

プライオリティキー(PRIORITY)

プライオリティ機能の設定や解除のときに使用します。

(アップキーと兼用です。)

受信モードキー(AM/FM)

受信モードを変更するときに使用します。

(数値キーの6と兼用です。)

メモリーライトキー(MEM.WRITE)

チャンネルメモリーするときに使用します。また、特定チャンネルの登録内容を消去するときにも使用します。

(ダウンキーと兼用です。)

ディレイキー(DELAY)

ディレイ機能の設定や解除のときに使用します。

(数値キーの7と兼用です。)

サーチパスリードキー(S.P.READ)

サーチパス登録した周波数を呼び出すときや、呼び出し前の周波数に戻すときに使用します。

(数値キーの8と兼用です。)

メモリーVFOキー(M▶VFO)

すでにメモリー登録してある内容をマニュアルモードに移すときに使用します。

(数値キーの9と兼用です。)

バンドライトキー(BAND WRITE)

サーチバンドのメモリー内容を書き替えるときに使用します。

(メモリーリードキーと兼用です。)

パスキー(PASS)

すでにメモリーしてある特定のチャンネルをスキャンモードからパスするときや、サーチパスの登録と解除のときに使用します。

(クリア/オールクリアキーと兼用です。)

ビープキー(BEEP)

キータッチ音の設定や解除のときに使用します。

(数値キーの0と兼用です。)

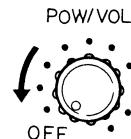
■本機はニッケルカドミウム電池での携帯使用のほかに、ACアダプターによる家庭電源使用、カーコネクターによる車載使用もできます。

充電のしかた

■付属のACアダプターや付属のカーコネクターを使用して充電します。

■初めて使用するときや、使用中ディスプレイにBATT表示がされたときは、必ず充電をしてください。

電源/音量調節ツマミを必ずOFFにします。

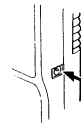


注意

- ・付属のカーコネクターは、12V車専用です。
- ・カーコネクターには、ヒューズが内蔵されています。ヒューズ交換の際には、必ず同じ定格(1A)のものをご使用ください。
- ・電源/音量調節ツマミをONにした状態では充電できません。
- ・アルカリ/マンガン乾電池も使用できますが、充電すると事故につながるので、絶対に充電しないでください。
- ・あまりに長時間の充電は、付属のニッケルカドミウム電池の寿命を短くするだけでなく、発熱などの原因にもなりますのでご注意ください。

2

ACアダプターカーコネクターのDCプラグを、本機の外部電源ジャックに差し込みます。



3

約15時間で満充電となり、通常使用で約6時間の連続動作が可能です。

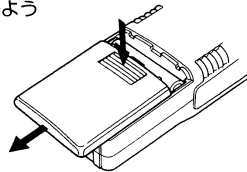
電池について

■ 1回の満充電で利用できる時間が短くなってきたら、新しいニッケルカドミウム電池と交換してください。

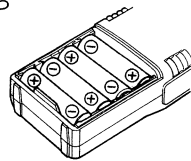
注意

- ・ 付属のニッケルカドミウム電池は、過度放電すると充電ができにくくなるので、早めに充電してください。
- ・ 種類の異なる電池や古い電池などを混ぜて使用しないでください。
- ・ 電池交換は、必ず電源／音量調節つまみをOFFにしてから行ってください。
- ・ 長時間使用しないときは、電池を取り出してください。

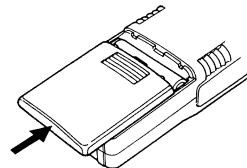
1 裏面の電池カバーを図のように開けます。



2 電池4本を⊕⊖確認してから入れます。

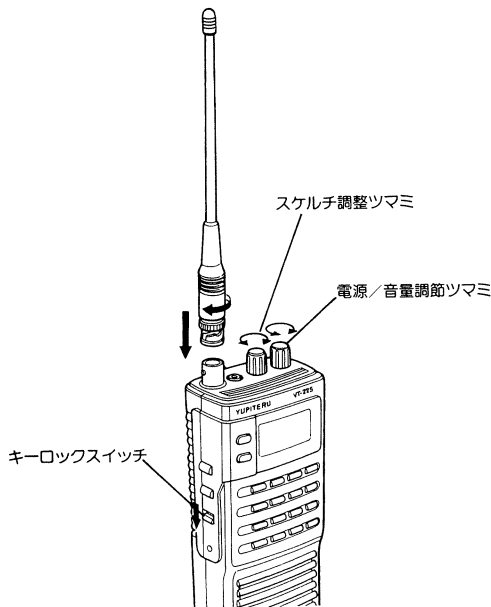


3 電池カバーを閉めます。



第2章 基本的な操作

キー操作を始める前に	18
数値キーによる選局	20
・ 周波数の入力	20
・ 周波数ステップの選択	20
・ 受信モードの設定	21
・ 1ステップ移動と早送り、早戻し	22
・ マニュアルモードについて	22
・ 入力周波数の訂正	24
モニター機能	26
キーロック機能	26



1 付属のフレキシブルアンテナ(または市販のアンテナ)をアンテナ接続端子に差し込み、アンテナコネクタを時計方向に1/4回転させ固定させます。

2 キーロックスイッチをOFFにします。

3 スクエルチ調整ツマミを左に回しきります。

4 電源/音量調節ツマミを右に回し電源を入れます。このとき、ディスプレイが表示します。

5 電源/音量調節ツマミをさらに回して、お好みの音量に調節します。

6 スピーカーから「ザー」という音が出ているときは、ノイズが消える位置までスクエルチ調整ツマミを右に回します。

また、スピーカーから音声が出ているときは、スクエルチ調整ツマミを中程まで回します。

-  ・リセットスイッチを押したときなど、初期設定値が呼び出されたときの周波数表示は、108.000.0となります。
- ・無信号のときに「ザー」という音が消える位置まで調整すると、ディスプレイのBUSY表示が消えます。
 - ・アンテナはコネクタ部を持ち、しっかり取り付けてください。

注意

- ・電源スイッチを入れたときに、ディスプレイの表示内容を確認してください。ディスプレイにBATTが表示されたときには、充電または電池を交換してください。
- ・スクエルチ調整ツマミを右に回しすぎると弱い電波が受信できなくなり、また、左に回しすぎると雑音などを受信してしまうので、聴きたい電波の強さに合わせて調整してください。
- ・スクエルチ調整ツマミを調整するときには、モニタースイッチは押さないでください。

周波数の入力

1 受信したい周波数を、数値キーで最上位の桁から順に入力します。



2 エンターキーを押すと、周波数の表示が点滅から点灯に変わり、入力は完了します。



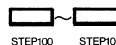
周波数ステップの選択

- マニュアルモードやサーチモードのときに、周波数ステップの選択ができます。(22、28頁参照)
- 周波数を変更するときや、表示の周波数からサーチするときなどの操作前に、希望の周波数ステップを選んでおきます。

1 ファンクションキーを押します。



2 希望する周波数ステップのステップ選択キーを押します。



3 周波数の入力や周波数の移動を行うと、周波数ステップの表示が点灯に変わり、設定は完了します。

・周波数ステップの表示は、設定が完了するまで点滅しています。

受信モードの設定

■ マニュアルモードやサーチモードのときに、受信モードの設定ができます。

1 ファンクションキーを押します。



2 ディスプレイの表示を見ながら受信モードキーを押し、希望の受信モードに設定します。



- ・受信モードが正しく設定されていないと、音声が出なかったり聴こえにくくなります。
- ・253.0~255.0MHz, 262.0~266.0MHz, 271.0~275.0MHz, 380.0~382.0MHzの範囲では、FMモードに設定できません。
- ・受信モードを変更すると、そのモードで以前に選択していた周波数ステップが表示されます。また、その周波数ステップが、受信モード変更前の周波数ステップと異なるときは点滅します。

- ・周波数の小数点入力はありません。
 - ・本機の受信周波数範囲以外の周波数を入力すると、1秒間Errorを表示し、入力する前の周波数に戻ります。
 - ・本機の設定ステップで登録することのできない周波数が入力されたときは、適合するステップで強制修正されます。
- 〈例〉周波数ステップが100kHzのとき
142.050.0→142.000.0
- ・キー入力は、最終キーを押してから10秒以内に行ってください。10秒以内に操作をしないと、操作前の周波数に復帰します。

1ステップ移動と早送り、早戻し

■マニュアルモードのとき、アップキーやダウンキーを押すと、周波数が選択している周波数ステップで、1ステップアップまたはダウンします。

また、1秒以上押し続けると、押されている間は受信周波数範囲を早送り、早戻しします。

注意

・FMモードに設定しているときは、253.0～255.0MHz、262.0～266.0MHz、271.0～275.0MHz、380.0～382.0MHz間の周波数に移動できません。

マニュアルモードについて

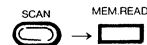
■マニュアルモードとは、SEARCHやSCAN、チャンネルがディスプレイに表示されていない状態をいいます。

1 マニュアルモードへのしかた

SEARCHが表示されているとき：
サーチキーを押します。



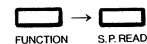
SCANが表示されているとき：
スキャンキー、メモリーリードキーを押します。



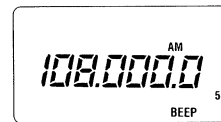
チャンネルナンバーが表示されているとき：
メモリーリードキーを押します。



P表示が点滅しているとき：
ファンクションキー、サーチパ
スリードキーの順で押します。



<例> 157.53MHzをFMモードで受信したい場合



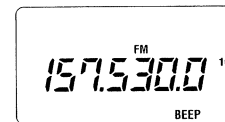
現在の表示



FUNCTION → AM/FM
受信モードを設定します。



FUNCTION → STEP10
周波数ステップを選択します。



1 5 7 5 3 →

ENTER

周波数を入力します。

入力周波数の訂正

注意

・エンターキーを押したあとや、クリア／オールクリアキーを2度押したあとでは、入力周波数の訂正はできません。

■目的の周波数を誤って入力したときは、エンターキーを押して始めからやりなおすか、クリア／オールクリアキーを1度押し、数値を訂正します。

1 クリア／オールクリアキーを1度押します。



2 アップキーを押し、訂正する桁を指定します。



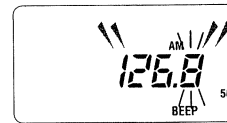
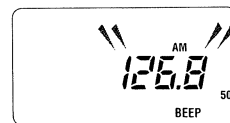
3 数値キーで正しい数値を入力します。



4 エンターキーを押すと、訂正は完了です。

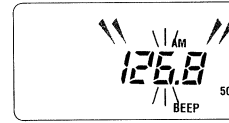


<例> 128.8MHzを入力するつもりが誤って126.8と入力した場合

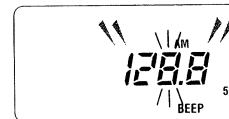


C/AC

クリア／オールクリアキーを1度押すと、最終桁が早く点滅します。



アップキーで訂正する桁を指定します。



8

正しい数値を入力します。



ENTER

エンターキーを押します。

モニター機能

■ 交信局の受信信号が弱く途切れるときにモニタースイッチを押すと、弱い受信信号も聴き取りやすくなります。

1 モニタースイッチを押すと、
押している間は、弱い受信信号が聴き取りやすくなります。



キーロック機能

■ 誤ってキーが押されても、キー操作を無効とします。持ち運ぶときなどに便利な機能です。

1 キーロックスイッチをONに
しますと、キー操作しても動作しません。



第3章 サーチについて

サーチ機能について	28
・ 連続サーチ	28
・ 方向指定	29
・ バンド指定サーチ	30
サーチバスメモリーについて	32
・ サーチバスメモリーのしかた	32
・ サーチバスメモリーの呼び出し	34
・ サーチバスメモリーの内容確認	35
・ サーチバスメモリーの解除	36

連続サーチ

■周波数がわからないときなど、マニュアルモードの周波数から本機の受信周波数範囲内を、マニュアルモードの受信モードと周波数ステップで、自動的に交信局を探す(サーチ)機能です。

1 スケルチ調整ツマミを回して、ノイズが出ないようにします。



2 周波数ステップの選択と受信モードの設定をしておきます。

3 サーチキーを押すと、自動的に選局を始めます。



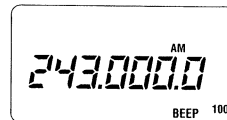
- ・サーチキーを押すと、ディスプレイ表示のマニュアルモードの周波数から本機の受信周波数範囲内をアップ方向に周波数を移動し、交信局を探します。電波が入ればそこで受信となり、電波が2秒(ディスプレイ時4秒)以上途切れると再び周波数が移動し、次の交信局を探します。
- ・サーチ中に再度サーチキーを押すと、サーチモードは解除します。

サーチ機能について

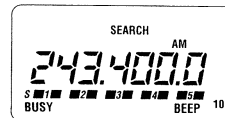
方向指定

サーチ中にアップキーやダウンキーを押すと、周波数の1ステップ送りとなり、その後は指定された方向へのサーチとなります。

<例> マニュアルモードの周波数からサーチを始める場合



現在の表示



SEARCH

サーチキーを押すと、周波数が表示のステップで自動的に移動し、交信局を探します。電波が入れば、そこで受信となります。

バンド指定サーチ

■目的の周波数が正確にはわからないが、ほぼ見当がついているときなどに、あらかじめ登録した周波数範囲内で、自動的に交信局を探すことのできる機能です。

1 スケルチ調整ツマミを回して、ノイズが出ないようにします。



2 数値キーの中から、聴きたいバンドに該当する数値キーを押します。

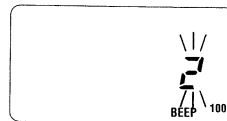


3 サーチキーを押すと、自動的に選局を始めます。このときディスプレイには、SEARCHと指定したバンドのナンバー1~9,0のいずれかが表示されます。



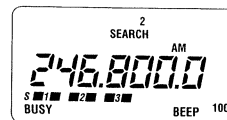
- ・数値キーの1~9,0に該当するサーチバンドには、初期設定として同一のデータ(108.0~142.1MHz/50kHzステップ/AMモード)が入力されています。
- ・10/バンドのデータは、バンドメモリーの方法(56頁参照)で任意に書き替えることができ、あらかじめ登録しておくことで、サーチしたいバンドを選びキー指定の後にサーチキーを押せば、選んだバンドをサーチし交信局を探します。電波が入ればそこで受信となり、電波が2秒(ディレイ時4秒)以上途切れると再び周波数が移動し、次の交信局を探します。
- ・全ての周波数がサーチパス登録(32頁参照)されているバンドをバンド指定サーチしたときには、モニタースイッチやスケルチの位置に関係なくサーチを行います。受信はされません。
- ・サーチ中に再度サーチキーを押すと、サーチモードは解除されます。

＜例＞ サーチバンド2をサーチする場合



2

数値キーの2を押します。



SEARCH

SEARCHが表示されるとともに周波数が移動し、交信局を探します。電波が入ればそこで受信となります。

サーチパスメモリーのしかた

■連続サーチ中やバンド指定サーチ中に、雑音や常時電波が出ている不要局などの周波数を、サーチパスメモリーすることで、その後のサーチモードではその周波数は受信しなくなり、効果的にサーチできます。

1 連続サーチかバンド指定サーチを行います。
(28～31頁参照)

2 雑音や常時電波が出ている不要局などの周波数でサーチが停止したら、ファンクションキーを押します。



3 パスキーを押します。このとき、ピープ音が「ビッピツ」と鳴れば完了です。



4 自動的に再びサーチを始めます。

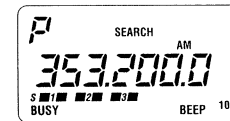
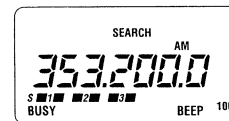


- ・サーチパスメモリーは、最大100の周波数が登録できます。
- ・101以上のサーチパスメモリーが行われたときは、FULの表示を1秒間行ったあと、キー操作される前の状態に戻ります。
- ・サーチパスメモリーされた周波数は、サーチモードのときのみパスされます。

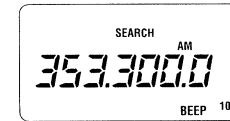
注意

- ・サーチパスメモリーは、サーチ受信中以外には登録できません。
- ・信号が弱く、BUSY表示が瞬間的にしか点灯しない周波数を登録するときは、モニタスイッチを押しながら登録してください。

<例> 連続サーチで受信している353.2MHzをサーチパスしたい場合



FUNCTION → PASS
登録は完了です。



1秒後にP表示は消え、サーチを開始します

サーチパスメモリーの呼び出し



- ・サーチパスメモリーがないときは、呼び出すことはできません。
- ・最初に呼び出されるサーチパスメモリーは、マニュアルモードの周波数に、アップ方向で一番近い周波数です。
- ・サーチパスメモリー呼び出し後に、再度ファンクションキー、サーチパスリードキーの順で押すと、マニュアルモードの周波数に戻ります。
- ・サーチパスメモリーの呼び出しをすると、ディスプレイのP表示が点滅となります。

- サーチパスメモリーした周波数を、マニュアルモードやサーチ停止中に呼び出すことができます。

- 1 ファンクションキーを押します。



- 2 サーチパスリードキーを押すと、サーチパスメモリーした周波数が呼び出されます。



サーチパスメモリーについて

サーチパスメモリーの内容確認

- サーチパスメモリー呼び出し後、アップキーやダウンキーを押すと、前後のサーチパス周波数が呼び出されます。



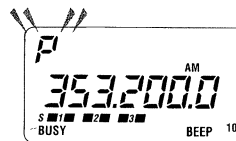
- ・サーチパスメモリーが1個しか登録されていないときは、アップキーとダウンキーを押しても変化しません。

<例> サーチパス登録した周波数を呼び出す場合



FUNCTION

ファンクションキーを押します。



S.P. READ

呼び出しは完了です。

サーチパスメモリーについて

サーチパスメモリーの解除



- ・解除のあとに、再度ファンクションキー、サーチパスリードキーの順で押すと、マニュアルモードの周波数に戻ります。
- ・すべてのサーチパスメモリーを解除すると、マニュアルモードになります。

1 サーチパスメモリーを呼び出します。

2 アップキーやダウンキーを押し、パス解除したいサーチパスメモリーを指定します。



3 ファンクションキーを押します。



パスキーを押すとパス解除は完了です。

4 このとき、次のサーチパスメモリーの周波数がディスプレイに表示されています。



第4章

メモリーとスキャンについて

チャンネルメモリーのしかた	38
・チャンネル指定メモリー	38
・連続メモリー	40
メモリーチャンネルの呼び出し	42
・メモリーチャンネルの呼び出し	42
・チャンネル送り	43
・マニュアルモードへの移動	44
・パスメモリーのしかた	45
・チャンネルメモリーの消去	46
チャンネルメモリースキャンについて	48
・チャンネルメモリースキャンのしかた	48
・方向指定	49
バンクスキャンについて	50
・バンクスキャンのしかた	50
プライオリティ機能について	52
・プライオリティチャンネルの登録	52
・プライオリティ受信のしかた	54

チャンネル指定メモリー

■本機のメモリーチャンネルは100ch(1ch~100ch)あり、マニュアルモードやサーチ停止中に登録することができます。

■本機のメモリーチャンネルは、10chを1バンクとし、合計10バンク(100ch)のメモリーを可能としています。

チャンネルメモリーをするときに、メモリー内容をグループ分けし、各バンクに対応したチャンネルに登録しておく、バンクスキャンがより有効になります。

(50頁参照)

1 目的の周波数を入力します。

希望のメモリーチャンネル(1ch~100ch)を数値キーで指定します。このときディスプレイに表示されている数値が点滅します。



3 ファンクションキーを押します。



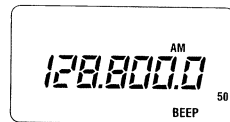
4 メモリーライトキーを押します。ピープ音が「ビッビッ」と鳴れば完了です。



- ・受信モードや周波数ステップは、ディスプレイの表示の内容で登録されます。
- ・101ch以上のメモリーチャンネルが登録されたときは、Error の表示を1秒間行ったあと、キー操作される前の状態に戻ります。また、すでに登録されているチャンネルに新たに登録すると、前の登録内容は書き換えられます。
- ・100chに登録したあと、チャンネルを指定せずに連続登録すると、1chから順に登録内容が書き換えられます。
- ・0chへの登録は、プライオリティチャンネルの登録となります。(52頁参照)

チャンネルメモリーのしかた

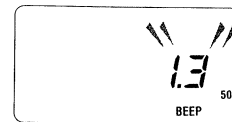
<例> 128.8MHzをAMモードで13chに登録したい場合



FUNCTION → AM/FM →

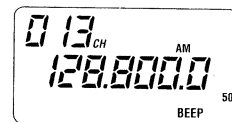
1 2 8 8 → ENTER

受信モードを設定し、周波数を入力します。



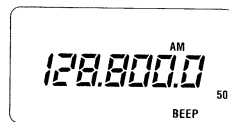
1 3

メモリーチャンネルを指定します。



FUNCTION → MEM. WRITE

登録は完了です



1秒後、チャンネルナンバーの表示は消え、周波数のみの表示となります。

連続メモリー

注意

- ・100chに登録したあとに連続メモリーの操作を行うと、1chから順に登録内容が書き替えられます。



- ・連続メモリーは、最後に呼び出したチャンネルから順次登録されます。
- ・チャンネルメモリーのあと、メモリーチャンネルの呼び出しを行ったときには、最後に登録したチャンネルに、プラス1されたチャンネルが呼び出されます。
- ・サーチ受信のときなど、交信局を受信しているときには、周波数の入力や受信モード、周波数ステップの設定の必要はありません。ディスプレイに表示されている周波数が、表示の受信モードと周波数ステップで登録されます。



FUNCTION



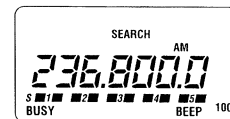
MEM.WRITE

1 受信モードを選択し、目的の周波数を入力します。

2 ファンクションキーを押します。

3 メモリーライトキーを押します。ピープ音が「ピッピッ」と鳴れば完了です。

<例> サーチ中に受信した交信局を連続的に登録したい場合



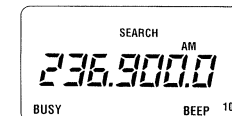
SEARCH

サーチを行い受信します。



FUNCTION → MEM.WRITE

登録は完了です。



1秒後チャンネルナンバーの表示は消え、サーチモードに戻ります。

メモリーチャンネルの呼び出し



- ・チャンネルナンバーを指定せずに、メモリーリードキーを押したときは、それ以前に呼び出されていたチャンネル（ラストチャンネル）が呼び出されます。
- ・チャンネルメモリーのあと、メモリーリードキーを押したときは、最後にメモリーしたチャンネルにプラス1されたチャンネルが呼び出されます。
- ・1ch~100chまでメモリーされていないチャンネルも呼び出せますが、このときの周波数は 000.000.0 を表示します。
- ・0chを呼び出したときは、プライオリティチャンネルの呼び出しになります。
- ・101ch以上のメモリーチャンネルを呼び出したときには、ディスプレイに Error を1秒間表示したあと、誤操作の前の状態に戻ります。
- ・メモリー呼び出し後に、再度メモリーリードキーを押したときには、マニュアルモードの周波数に戻ります。
- ・バスメモリーしたチャンネルを呼び出したときは、ディスプレイのCHが点滅となります。

数値キーで呼び出すチャンネルを指定します。

このとき、ディスプレイに表示されている数値が点滅します。



メモリーリードキーを押します。

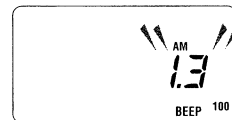


メモリーチャンネルの呼び出し

チャンネル送り

- メモリー呼び出しのあと、アップキーやダウンキーを押すと、1チャンネルのアップやダウンとなります。またアップキーやダウンキーを押し続けたときは、1ch~100ch間の早送りや早戻しとなります。

＜例＞ 13chに登録されている128.8MHzの周波数を呼び出す場合



1 3

呼び出すメモリーチャンネルを指定します。



MEM.READ

呼び出しは完了です。

マニュアルモードへの移動

■チャンネルメモリーの周波数を、そのままマニュアルモード（VFO）に移すことができます。

1 希望のメモリーチャンネルを呼び出します。

2 ファンクションキーを押します。



3 メモリーVFOキーを押すと操作は終了です。



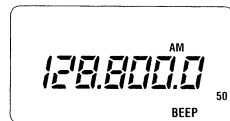
☞ プライオリティチャンネルをマニュアルモードへ移動することはできません。(54頁参照)

<例> 13chを呼び出し、登録されている128.8MHzの周波数をマニュアルモードに移す場合



1 3 → MEM.READ

メモリーチャンネルを呼び出します。



FUNCTION → M VFO

マニュアルモードへ移動します。

パスメモリーのしかた

■メモリー呼び出しのあとや、スキャンモード(48頁参照)で信号を受信しているときにパスメモリーを設定すると、その後のスキャンモード中に、そのチャンネルを受信しないようにはたきます。

1 パスメモリーしたいメモリーチャンネルを呼び出します。

2 ファンクションキーを押します。



3 パスキーを押します。



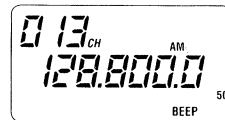
・スキャンモードでの受信(スキャン停止中)は、メモリーチャンネルの呼び出し状態になっています。

メモリーチャンネルの呼び出し



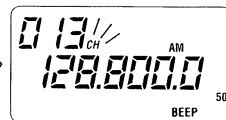
- ・メモリー呼び出しのあと、再度ファンクションキー、パスキーの操作で、パスメモリーは解除されます。
- ・チャンネルメモリーされていないチャンネルでは、パスメモリーは受け付けません。
- ・パスメモリーされたチャンネルは、メモリー呼び出しを行ったとき、チャンネルナンバーのCHが点滅します。
- ・プライオリティチャンネルをパスメモリーすることはできません。(52頁参照)

<例> すでに登録されている13chをスキャンモードからパスしたい場合



1 3 → MEM.READ

メモリーチャンネルを呼び出します。



FUNCTION → PASS

13チャンネルのパスメモリーが完了です。

チャンネルメモリーの消去



- ・チャンネルメモリーの内容を消去すると、周波数の表示は000.000.0となります。
- ・受信中のメモリーチャンネルで消去の操作をしたときは、チャンネルメモリーの内容は消去されますが、他のモードに入るまで受信は継続されます。
- ・プライオリティチャンネルのメモリー消去はできません。

■登録したチャンネルの内容を消去したいときに使います。

1 消去したいチャンネルを呼び出します。

2 ファンクションキーを押します。



3 メモリーライトキーを押すと操作は終了です。



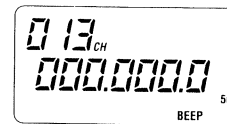
メモリーチャンネルの呼び出し

<例> 13chの登録内容を消去したい場合



1 3 → MEM.READ

消去したいメモリーチャンネルを呼び出します。



FUNCTION → MEM.WRITE

消去は完了です。

チャンネルメモリスキャンのしかた



- ・もう1度スキャンキーを押すと、スキャンモードを解除します。
- ・スキャンモード中に、スキャンキー、メモリーリードキーの順で押すと、マニュアルモードの周波数に戻ります。
- ・登録されているチャンネルのみをスキャンし、なにも登録されていないときはError を1秒間表示し、スキャンモードに入りません。
- ・登録されているチャンネルが、すべてバスメモリーされているときには、ディスプレイに ALL PASS を1秒間表示し、スキャンモードに入りません。

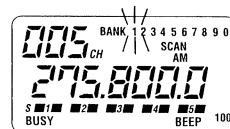
1 あらかじめスケルチ調整ツマミを回し、ノイズが出ないようにします。



2 スキャンキーを押すと、自動的に選局を始めます。このとき、ディスプレイにはSCANとBANK、登録されているチャンネルのバンクナンバーが表示され、受信したチャンネルに対応するバンクナンバーが点滅します。



<例> 登録した各チャンネルをスキャンしたい場合



SCAN

スキャンキーを押すとSCANが表示され、自動的に登録したチャンネルを移動し、交信局を探します。

方向指定

■方向指定

チャンネルメモリスキャン中やバンクスキャン（50頁参照）中に、アップキーやダウンキーを押すと、1チャンネル送りとなり、その後は指定された方向へのスキャンとなります。

バンクスキャンのしかた

■本機のチャンネルメモリーは、10チャンネルを1バンクとし、合計10バンク、100チャンネルの登録を可能としています。スキャンモードに入るとき、数値キーでスキャンしたいバンクナンバーを指定してからスキャンキーを押すと、特定のバンクのみをスキャンすることができます。

3

スキャンキーを押すと、指定バンクのスキャンを始めます。



・バンクナンバーとメモリーチャンネルの関係

バンクナンバー(BANK)	1	2		9	0
メモリーチャンネル(ch)	1~10	11~20		81~90	91~100

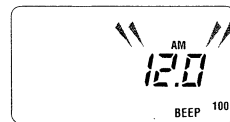
- ・スキャン中に、スキャンキー、メモリーリードキーの順で押すと、マニュアルモードの周波数に戻ります。
- ・キー指定したバンクスキャン機能は、次に他のモードに入ると解除されます。
- ・バンク指定は、メモリーされているバンクのみ受け付けられます。
- ・バンクスキャン指定したすべてのチャンネルがパスメモリーされているときには、ディスプレイに ALL PASS を1秒間表示した後、直前の状態に戻ります。



1 あらかじめスケルチ調整ツマミを回しノイズが出ないようにします。

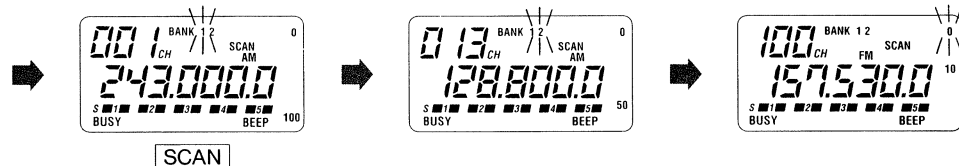
2 数値キーでスキャンしたいバンクを指定します。
スキャンしたいバンクは、数値キーを続けて押すことで最大7バンクまで指定できます。このとき、ディスプレイに指定した数値が点滅します。

<例> あらかじめチャンネルメモリーされている10バンク中のバンク1(1~10ch)、バンク2(11~20ch)、バンク0(91~100)のみをスキャンさせたい場合



1 2 0

スキャンバンクを指定。



スキャンキーを押すと指定されたバンクをスキャンします。このときディスプレイには、1、2、0のバンクナンバーが点灯し、信号を受信すると現在のバンクナンバーが点滅します。

プライオリティチャンネルの登録

■プライオリティ機能とは、0chに登録された周波数が最優先チャンネルとなり、メモリスキャンやサーチ、メモリー呼び出し受信、マニュアル受信のいずれにおいても、5秒おきにモニターする機能です。(プライオリティチャンネルは、ディスプレイのメモリーチャンネルナンバー表示部にPCHで表示されます。)

1 マニュアルモードで優先したい受信周波数を入力します。

2 数値キーの0を押します。

3 ファンクションを押します。



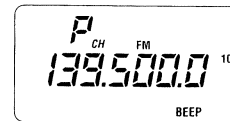
4 メモリーライトキーを押すと、ビーブ音が「ピッピッ」と鳴り登録終了です。



- ・プライオリティチャンネルの登録は、0chにメモリーすることで登録できます。
- ・プライオリティチャンネルの初期設定値は108.0MHz、AMモード、50kHzステップとなっています。
- ・プライオリティチャンネルの登録内容の確認は、0chのメモリー呼び出しでできます。

プライオリティ機能について

<例> 139.5MHzをプライオリティチャンネルとして登録したい場合



FUNCTION → AM/FM
→ FUNCTION → STEP10
→ 1 3 9 5 → ENTER

0 → FUNCTION → MEM. WRITE
登録は完了です

受信モードと周波数ステップを設定し、周波数を入力します。

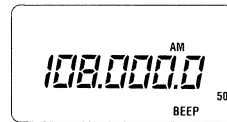
1秒後、PCHの表示は消えます。

プライオリティ機能について

プライオリティ受信のしかた

<例> プライオリティ機能を設定したい場合

1 ファンクションキーを押します。



2 プライオリティキーを押すと、
プライオリティ機能が設定されます。このとき、ディスプレイにPRIを表示します。



FUNCTION → PRIORITY

ファンクションキーとプライオリティキーを順に押すと、5秒おきにプライオリティチャンネルが表示されます。

第5章 便利な機能

- ・ プライオリティ機能は、再度ファンクションキー、プライオリティキーの順で押すと解除できます。
- ・ プライオリティチャンネルで受信したときは、信号が無くなるまで受信を継続します。

サーチバンドの内容書き替え	56
ディレイ機能	58
ビーブ音の消去	58
ランプ機能	59

バンドメモリーのしかた

■数値キーの1～9,0に該当するサーチバンドの内容を、受信範囲内で任意に書き替えることができます。

1 あらかじめマニュアルモードにし、受信モードと周波数ステップを選択します。

2 下限周波数を入力します。



3 エンターキーを押します。



4 ファンクションキーを押します。



5 バンドライトキーを押します。



6 エンターキーを押します。



7 上限周波数を入力します。



8 エンターキーを押します。



9 書き替えるサーチバンド選択キーを押します。

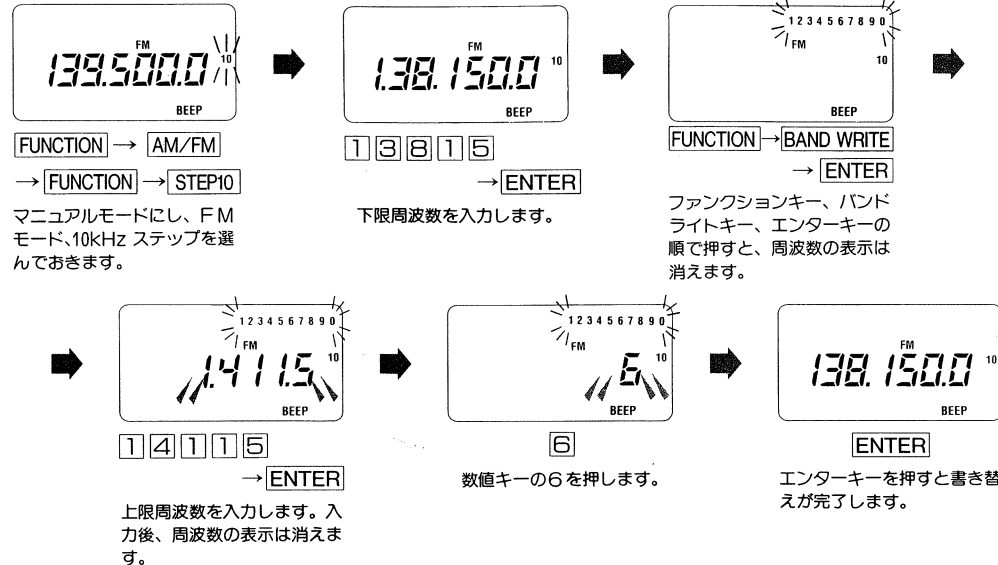


10 エンターキーを押します。ビープ音が「ビツビツ」と鳴り、書き替えが完了します。



☞ ・下限周波数と上限周波数の入力順序が逆であっても、バンドメモリーは受け付けます。

＜例＞ 数値キーの6に該当するサーチバンドに書き込まれている内容を、FMモード、10kHzステップで138.15MHz～141.15MHzとしたい場合



ディレイ機能

■本機はスキャン、サーチ受信中に、電波が途切れると次の受信へと進んでいきますが、次の受信に移るまでに時間をもたせています。この時間は、通常2秒間に設定されていますが、ディレイ機能設定すると4秒間に変わります。

1 ファンクションキーを押します。



FUNCTION

2 ディレイキーを押すと、ディレイ機能がはたらきます。



DELAY

☞ ・再度ファンクションキー、ディレイキーの順で押すとディレイ機能は解除されます。
・ディレイ機能が設定されているときには、ディスプレイにDELAYを表示します。

注意 ・ディレイ機能は、数値キーの入力途中（点滅状態）では切り替えできません。

ビープ音の消去

■各キーを押したときの音（ビープ音）を消すことができます。

1 ファンクションキーを押します。



FUNCTION

2 ビープキーを押すと、ビープ音を消去します。



BEEP

☞ ・再度ファンクションキー、ビープキーの順で押すと、ビープ音が復帰します。
・ビープ音が鳴るように設定されているときは、ディスプレイにBEEPを表示します。
・本機は、操作が確実に行われたかどうかを、ビープ音で知らせます。
・ビープ音の種類は次のようなものがあります。
・数値キー、単独キーの受け付け……………「ビッ」
・登録完了(メモリー登録、メモリー消去)……………「ビッビッ」
・エラー……………「ビッポツポツ」

注意 ・ビープ音の消去は、数値キーの入力途中（点滅状態）やサーチ中、スキャン中は設定できません。

ランプ機能

■夜間などの使用のときに、ディスプレイを照らします。

1 ランプスイッチを押します。
押している間は、ランプは点灯し続けます。



LAMP

第6章

知っておきたいこと

故障かな? と思ったら	62
アフターサービスについて	64
一般仕様	64

■修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い求めの販売店、または最寄りの「お客様ご相談窓口」(添付の一覧表をご参照願います。)にご相談ください。

症 状	原 因	処 置
ディスプレイに何も表示されない。	電池が消耗している。	充電するか電池を交換する。 (15、16頁参照)
ときどきPCHが表示される	プライオリティ機能がはたらいている。	プライオリティ機能を解除する。 (54頁参照)
P表示が点滅している	サーチバスメモリーを呼び出している。	マニュアルモードにする。 (22、36頁参照)
受信が途切れる	スケルチ調整が誤っている。	スケルチ調整を正しく行う。 (18、19頁参照)
	交信局の電波が弱い。	モニタースイッチを押す。 (26頁参照)
キーを押しても動作しない。	キーロックスイッチがONになっている。	キーロックスイッチをOFFにする。 (26頁参照)
周波数を入力できない。	受信周波数範囲でない周波数を入力している。	受信周波数範囲内の周波数を入力する。 (22、64頁参照)

症 状	原 因	処 置
サーチができない	スケルチ調整が誤っている。	スケルチ調整を正しく行う。 (18、19頁参照)
	モニタースイッチを押している。	モニタースイッチを離す。 (26頁参照)
スキャンができない。	スケルチ調整が誤っている。	スケルチ調整を正しく行う。 (18、19頁参照)
	モニタースイッチを押している。	モニタースイッチ離す。 (26頁参照)
	すべてのメモリーチャンネルがバスメモリーされている。	バスメモリーを解除する。(45頁参照)
	すべてのメモリーチャンネルに何も登録されていない。	チャンネルメモリーを行う。 (40、41頁参照)
充電しない。	電源／音量調節ツマミがONになっている。	電源／音量調節ツマミをOFFにして充電する。(15頁参照)
	電池の寿命。	交換する。(16頁参照)
	カーコネクターのヒューズが切れている。	ヒューズを交換する。(15頁参照)

アフターサービスについて

■保証書

保証書は、必ず「販売店名・購入年月日」等の記入をお確かめの上、販売店からお受け取りいただき、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げの日から1年間です。

■修理を依頼されるとき

- ・保証期間中のとき
恐れ入りますが、お買い求めの販売店まで保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定にしたがって修理いたします。
- ・保証期間が過ぎているとき
お買い求めの販売店にまずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

■アフターサービス等についてご不明の点は

お買い求めの販売店、または最寄りの「お客様ご相談窓口」（添付の一覧表をご参照願います。）にお問い合わせください。

受信周波数

108.0～142.1MHz
149.5～160.0MHz
222.0～391.0MHz(AMモード選択時)

周波数ステップ

10/12.5/25/50/100kHz

受信電波型式

AM/NFM

受信感度

AM：0.5 μ V標準(S/N 10dB)
FM：0.5 μ V標準(SINAD 12dB)

メモリー数

チャンネルメモリー：100
バンドメモリー：10
プライオリティチャンネルメモリー：1
サーチバスメモリー：100

スキャン/サーチスピード

1秒間に約30チャンネル/40ステップ

アンテナインピーダンス/型式

50 Ω /BNC

電源

ニッケルカドミウム電池4本(4.8V)
外部電源12V(充電兼用)

スピーカー最大出力

100mW以上(4.8V 8 Ω THD 10%)

一般仕様

消費電流

最大出力時：150mA(標準)
待ち受け時：60mA(標準)

動作保証温度範囲

0℃～50℃

外形寸法

59(W)×147(H)×38(D)mm(突起部含まず)

重量

280g(アンテナ含まず)

付属品

- ・フレキシブルアンテナ (1)
- ・ACアダプター (1)
- ・カーコネクター (1)
- ・ニッケルカドミウム電池 (4)
- ・ハンドストラップ (1)
- ・ベルトクリップ (1)
- ・ベルトクリップ取付用ネジ (2)
- ・イヤホン (1)
- ・取扱説明書 (1)
- ・保証書 (1)
- ・お客様ご相談窓口一覧 (1)